

2025 京都大学（前期）国語（文系）概評

出題分析		
試験時間 120 分	配点 150 点 ※学部により異なる	大問数 3 題
分量（昨年比較）〔 減少 同程度 増加 〕		難易度変化（昨年比較）〔 易化 同程度 難化 〕
<p>【概評】</p> <p>〈現代文〉 大問一は評論からの出題であり、京大現代文としてはやや珍しい出題内容であった。</p> <p>〈古 文〉 問題文の分量・設問の形式はともに例年どおり。問題文の大筋をとらえることは難しくなかっただろうが、細かい個所の読解が難しいと感じた受験生もいたかもしれない。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文（評論） 中井久夫 「現代社会に生きる こと」 ○行数：55 行	近代における都市化がもたらした弊害について論じた文章。問一の内容説明問題は「かわいらしい」という表現に皮肉がこめられている点に注意する。問二の内容説明問題は、自然と人間との分断とその弊害をまとめる。問四の内容説明問題は、人間どうしの交流が失われている点に言及する。 ※（昨年度）随筆、62 行、5 問（5）	標準 〈問題文〉 標準 〈設 問〉 標準
二	現代文（随筆） 小津夜景 『ロゴスと巻貝』 ○行数：55 行	読書の効用と言葉や文学がもつ力について述べた文章。問一の内容説明問題は「蛍」という比喻表現に注意する。問三の理由説明問題は、筆者にとっての読書という行為がもつ意味を考える。問四の内容説明問題は、何がどのように「傲慢」であるのかを適切に説明する。 ※（昨年度）随筆、46 行、5 問（5）	標準 〈問題文〉 標準 〈設 問〉 標準
三	古文（室町・軍記物語） 作者未詳 『義経記』 ○行数：20 行 ○和歌 1 首を含む	陸奥へ逃走後いづれ迎えをよこすと言う源義経に対し、北の方が涙ながらに反論する話。問一の現代語訳は標準。「参らす」の本動詞・補助動詞の区別に注意する。問二の内容説明問題は、直前の引用の「と」に着目する。問四の内容説明問題は、傍線部の「人」が義経を指すことを押さえる。 ※（昨年度）鎌倉・日記、17 行、5 問（5）	標準 〈問題文〉 標準 〈設 問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。京都大学の問題文は通常 56 字／行（20 行／頁）。

設問構成（設問数・形式・内容）													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	5問 (5)		5		4>4		1>1						
二	5問 (5)		5		4>4	1>1							
三	5問 (5)		5		3>3					2>2			

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法

〈現代文〉

文学や言葉に関する評論を日頃から読み慣れ、記述力を磨いておくこと。言葉の意味内容・同義語などの知識を豊かにしておくことも有効であろう。

〈古文〉

基礎的な文法事項や語句の習得とともに、高校の授業内容をおろそかにしないこと。正確な読解のために、文学史の知識も豊富にしておきたい。